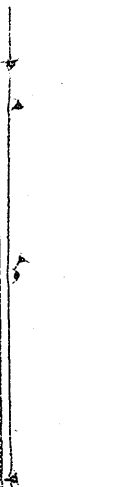
（大正十年四月二十二日第三種郵便物認可）　昭和四年七月十七日　礦業城新聞　〔水曜日〕　第二千五百八十六號（一）

（十六日夕刊）



大正十年四月二十二日第三種郵便物認可　昭和四年七月十七日　礦業城新聞　〔水曜日〕　第二千五百八十六號（一）

休刊　大祭（第三日曜）
定價（壹ヶ月壹圓、壹ヶ月壹圓五十錢、郵稅十錢）
廣告料（二行平假指定廿假增）
發行兼編輯印刷人　遠沼龍輔
發行所　礦業城新聞社
福島縣平町田町拾六番地

ラヂオとレントゲン

上田醫院長　上田耕作氏寄

平町地方の病院に設置し五球以上のセットでは極めてゐるレントゲンがラヂオに障害を齎らすとの議論が八釜しく論議されてゐるが右に關し上田下科醫院長上田耕作氏が本社に寄せられた一文を紹介する事としました

（前略）御承知の如く、レントゲン發生裝置にはモーター整流とケネトロン整流との二樣式ありまして、前者はラヂオに影響があります兩樣式共に一長一短がありましてラヂオに影響のありますは敢に組織なるものであります。

ラヂオ影響の件は、只々平町地方のみならず世界的の問題でありまして特に濕氣の多い日本の國土に於きましては前者は、保存及機能に於て有利の如く考へられて居ります、東京、仙臺等の大病院に於ても兩樣式を設備してゐる處多く只々モーター整流はラヂオに影響する短所のあるを遺憾に存せられます、但し放送局に近き程影響は少くないのであります。當醫院に於きましては前者を裝置でありまして設備當時より德義上、組合（午後六時迄）は勿論　書間も經濟市況放送お斷だけは使用いたしません。

それ、第一、第三日曜はレントゲンは使用おやめ致しまして一日間ゐるのは午後より午後一時迄は使用せぬことにいたします、但し外傷等にて火急を要する時は其限りでありませぬが、其等は診斷に依用するので一分間以内ですから、御諒承願はしう存じます。

最後に御承知置き願いおきいことは、平地方に於ける超過差額は之を補ふ爲めに、モーター整流裝置は當醫院即ち當醫院に於ては無いことで、ラヂオ落語理髮所修繕機關を設けの雜音の全部がレントゲン斯道の爲發に偉大なる努力を拂つてゐる

日立視察記

早大新聞研究生　齋藤昌武

（下）

教育施設

經營者は重に從業員子弟の教養につとめ本山（採鑛所）大雄院（製錬所）並に宮田に尋高校計四つありこれに收容する人員現在七男女合計大約四八七九人を算

▲一白　上下の意見取捨に迷ふ日舊來の業は盛に向ふ

▲二黑　滯りなく物事すらすらと進む日但し口舌注意

▲三碧　一時的の巨利を夢みるは凶常業に順調に進むべし

▲四綠　それと好運を取逃さぬ樣油斷なく勵むべし

▲五黃　奮起勉勵すべし引込思案や守る時にあらず

▲六白　位階高く心の落付かざる日飮食・注意

▲七赤　あせり心の生ずる日進むは十分注意すべし

▲八白　願望成就する日人より持込まるゝ事利益化す

▲九紫　運氣定まらず吉凶交々至る日内に守るが安全

勞資協調機關

常傭夫を正會員とし鑛夫頭を特別會員所員を準助員として會員相互の救濟並に親睦を圖り更に智德を涵養し日立鑛山溫交會を組織しその合議機關として評議員會を開く等一同は打つて一丸となりその勞資協調の實績を十分に發揮してゐるのであり、やがてこゝに働く人々にも惠がくをであらうと自分はこゝに學校の餘暇を利用し多くの實習や體驗をなす人々のやうに炎熱の夏休みを尊い實社會視察の一部分に表すことが出來た參考となれば幸甚の至りである

死を超ゆる者

（38）

三上於菟吉作

布施平八郎畫

深夜の罪惡（五）

この悲しい、心細い、むしろ打ちのめされた心を抱いたわが身は今更ながら、き子、而して勇は涙を拭いた

そして有合せの紙に三四行の文字を記した、それは養父母に長い間の恩を謝し最後に盜賊として、この家に去る自分を詫び、直ぐ様失跡の屆をして一日も早く順送つたらよいか見當がつかなかつた

彼は始々村越の宿へ行つて一切を打ち開けて今後のことを相談しようかとも思つたのであつたが、たゞでへ一家にとつてたゞへ好都合であるにしろ、六千圓といふ大金を持ち出した身であつて、よし、明日の朝直ぐ小包で送つてやらう！

彼は書物の間に挾んだ紙幣を封して送付するわが一番安心した、けれども一種言ひ樣のない體など抱くべきではなかつた。

それは夜明けにき子家の郵便函へ入れて置く考へをもつた、怖れは消えてゐるが、不安は殘つてゐる

電氣吹込
新製法
オリエントレコード
（新譜）大阪行進曲（兩面一枚）（金一圓也）
逢ふにや明るし道頓堀は
ジャヅに浮かれて人目を忍ぶ
甘い酒のみや櫓の上に
芝居もどきの月が出る
蓄音器の修繕は安く良く安く
特約店　大谷時計病院
電話二一九番

内科診療
消化器病科　呼吸器病科
小兒內科　一般內科
入院應需（自炊ノ便アリ）
平町鼠坂
渡邊內科醫院
電話一六一番

貸地廣告
平町郡役所より稅務署附近の新開地に五百餘坪の貸地があります、然かも完全な土盛でありますから流失其の他の憂ひ絶對になく商店、諸工場並に高級の住宅地として最もの適地を極く安値にお貸しいたします
御希望の方は電話なり戴けば社員が伺ひして親しく御相談に應じます
小名濱商事株式會社
平出張所
電話　六〇三番　五四一番

レコードハ此のマーク！を
店員募集
肉聲のビクターレコード
販賣店　會田時計店
（平町四丁目電話三六三番）

内科、小兒科
花柳病科
入院應需
藤沼醫院
平町細屋町
電話平局五〇七番

夏！
夏！
旅行に外出に
涼し氣な『パラソル』と
感じの好い表帽の道行
デリケー、表帽の涼味
皆樣の御氣に召す樣新しい品が澤山取揃へてあります
平四
ツルヤ

器械新設
體溫計無料檢查
皆樣の御手元まで御覽に入れました引札の如く今回最新優秀なる檢定器を設置し無料で檢査いたしますから御遠慮なく御持參を願います
（檢查日）毎月十日
平町二丁目
指定販賣所　西村屋藥舗
電話三番

夜間診療
泌尿器科　淋病　婦人病　皮膚病
性病科　內科　外科　部
專門
松村胃腸病科醫院
（平南町電話一〇七番）

營業種目
內地材　材木各種、羽柄材各種
建築諸材請負
礦山用坑木其他諸材請負
外材部　米松、米杉、大角製材調達請負其他
佐藤材木店
常磐線平町新田町
電話三三五番

小名濱商港も平水道も來るべき政友内閣に待て

民福を度外視す濱口内閣
地方有力な意見一致

小名濱商港は民政黨濱口内閣の黨略的の血祭りに上げられ爰ひに工學中止の悲報に接するや地元小名濱町民は猛然と起つて中止反對の運動を開始し郡下町村長支會を初め今や全郡民は必死の運動を繼續中であるが今日まで各種團体の委員が直接内務省で安達内相に會見陳情せるに對し内相の意見は

小名濱港の工事は絶對の中止ではなくして暫定的一時的のものであり國家の財政が建直り地方財政が整理せられた曉には優先的に工事の完成を認めると聲明したが委員連は承服せず

小名濱港は過去二十餘年の懸案がやつと解決し着工式も擧げたものであり特に今回の中止によつて淺野氏の寄附金百萬圓も實現不可能となるからこの寄附金でだけでも著手するやうにしてもらい度ひと主張したが依然安達内相は日清戰爭以來の我國の財政困難を述べ國家的大事業の前に一港灣の工事はゆるぎ、殊に依つたら妻と二人で私をだましたのでないしたのです處が妻子四人かと考へられるので早速此は此の人(赫銅色)の處にの人の家に行き妻子を返し居る事が分りましたので誤れを交渉した處案の定直くに妻子を連れ歸らう證文が口をきくの一點張りとした處妻は「貴方の病で私の出した預け證を楯にしてどうしても返して呉れの妻子の預り證文を出した世話して呉れると言ふかませんどうか妻子を返すやのは此の二人だけかも知れら厄がいになる事に定めうに說諭して下さい」と言ふ此のたのです」と言ふ此の人も此の話するから安心して病氣を保養しろと親切に言つて下さるので妻子をお願する事にし此の官服連中の間から恐ろしく大きな笑ひの聲が爆發した見るからに病身らしい蒼面な面をした四十男と、健康そのものゝやうな赫銅色の三十三四の職人體の男が連れ立つて平署人事相談所を訪れたことから珍事件が幕が開く、伊藤次席の前へ並んだ此の二人の男は病身らしいのが平町長橋町居住無職齋藤與平(四〇)赫銅色が平町才槌小路色川材木店製板職工井坂留吉(三三)

最初病身の方から口を開く「三四年前から肺が病んでゐるので仕事も出來ません然し何時までもこうしてゐる譯には行きませんから十日程前妻ミナ(三二)長女喜江(九)外二人の子供を連れて東京に出た上妻は何か仕事を見つけ私は病院に入る譯で上京する途中妻が水戸の實家に寄りたいと言ふので私だけ上京した、處ろが直ぐに上京する筈の妻が來ないので不審に思つて水戸の實家を尋ねるとミナは子供等を連れて平町に歸つた妻の行方を探しても平町に歸り妻の行方を探しても貰らひ私も預り證を書いて別れたのです……

處が今朝まで考へ續けましたがどうも話が餘り甘すぎる事になり一切物品は會社振り當て總利益金四十六萬四千拾四圓二十九錢にして法定積立金四萬圓、別途積立金五萬圓、行員退職基金一萬五千圓、役員賞與一萬八千圓、株主配當(年八分)十一萬八千圓の好績をなしむると

忘れ物が山積する
海水浴客の平驛
一日平均十數件に達す
帽子辨當その他

平町地方に俄かに襲來した溶け込む樣な酷暑は老若男女の心を海に山に誘惑すること廣大を誇る新舍の平驛待合室は連日海水浴客に雜踏を呈してゐるが此れに從つて忘れ物が非常に多くなつたが平驛の每日の忘れ物は平均十二、三件あり多い日は二十件以上にもなる事もあり大部分は海水浴のカンナガラ帽、麥藁、パナマ等中には買つたばかりの樣な上等品もあり、また辨當箱や驛辨メシ折詰は常磐銀行の今年度上半期の成績を聞くと內容の充實を計る爲め利益は專ら鎭却に振り當てる事になり一切物品は會社が三ツも包んだ風呂敷包等が三ツも包んだ風呂敷包等

めか女の持物が割合に少なく中には日傘一件、バラ一件、ソル二件があつたばかりで他の關係から非常に憂慮されてゐた割合に今年は客に雜踏を呈してゐるが此れに從つて忘れ物が非常に多くなつたが平驛の每日の忘れ物は平均十二、三件あり多い日は二十件以上にもなる事もあり大部分は海水浴のカンナガラ帽、麥藁、パナマ等中には買つたばかりの樣な上等品もあり、また辨當箱や驛辨メシ折詰は常磐銀行の今年度上半期の成績を聞くと內容の充實を計る爲め利益は專ら鎭却に振り當てる事になり一切物品は會社が三ツも包んだ風呂敷包等

常磐銀成績

株主配當年八分

中町に支店を有する水戸市常磐銀行の今年度上半期の成績を聞くと內容の充實を計る爲め利益は專ら鎭却に振り當てる事になり一切物品は會社

珍無類日本一の預り證文
貴殿の妻子四人を確かに預る
平署係官の粋な裁判

平町地方は連日九十度を超す殺人的暑熱が襲來したので平署人事相談所を訪れたことから珍事件が幕が開く、伊藤次席の前へ並んだ此の二人の男は病身らしいのが平町長橋町居住無職齋藤與平(四〇)赫銅色が平町才槌小路色川材木店製板職工井坂留吉(三三)

最初病身の方から口を開く「三四年前から肺が病んでゐるので仕事も出來ません然し何時までもこうしてゐる譯には行きませんから十日程前妻ミナ(三二)長女喜江(九)外二人の子供を連れて東京に出た上妻は何か仕事を見つけ私は病院に入る譯で上京する途中妻が水戸の實家に寄りたいと言ふので私だけ上京した、處ろが直ぐに上京する筈の妻が來ないので不審に思つて水戸の實家を尋ねるとミナは子供等を連れて平町に歸つた妻の行方を探しても平町に歸り妻の行方を探しても貰らひ私も預り證を書いて別れたのです……

處が今朝まで考へ續けましたがどうも話が餘り甘すぎる、殊に依つたら妻と二人で私をだましたのでないしたのです處が妻子四人かと考へられるので早速此は此の人(赫銅色)の處にの人の家に行き妻子を返し居る事が分りましたので誤れを交渉した處案の定直くに妻子を連れ歸らう證文が口をきくの一點張りとした處妻は「貴方の病で私の出した預け證を楯にしてどうしても返して呉れの妻子の預り證文を出した世話して呉れると言ふかませんどうか妻子を返すやのは此の二人だけかも知れら厄がいになる事に定めうに說諭して下さい」と言ふ此のたのです」と言ふ此の人も此の話するから安心して病氣を保養しろと親切に言つて下さるので妻子をお願する事にし此の官服連中の間から恐ろしく大きな笑ひの聲が爆發した見るからに病身らしい蒼面な面をした四十男と、健康そのものゝやうな赫銅色

平町民の願望も
結局は水の泡
委員五名がけさ上京
現内閣呪への聲

小名濱商港工事繼續運動の爲め上京中の伏見平町長は都町村長支會委員と共に十四日内務大臣に會見陳情の結果小名濱商港は前項の如き結果に置かれるらしいが更らに平町が工事三十五萬圓を以て計劃變決せる上水道擴張工事の起債並に補助並んだ此の二人の男は病身無職齋藤與平(四〇)赫銅色が平町才槌小路色川材木店

飯場癈止
世話役を任命

石城郡内郷村磐城炭礦小野田坑では從來の慣習として飯場制度を設け礦夫の世話をなして來たが來る八月一日から飯場を組長に改正す

仕入の洋酒三打を
外國人に密賣
神谷生れの片寄一郎が
平署經由で送還

石城郡神谷村大字徐目字大町西助の長男、元大阪商船株式會社所有船ロンドン丸乘組の給仕片寄一郎(二四)は去る大正十三年同會社に雇はれ同船の乘組を命せられた者であるが昨年の十二月十八日同船が横濱港を出帆して北米領のシャトルに渡航せんとしたる際橫濱にてボートワイン一打及びジン(洋酒二打)を買ひ求め同船に持ち込み、いよ〳〵目的地シャトルに着した機會を巧に利用して之を外人に密賣してゐたる事がシャトル公使館に知れ直ちに引致取調を受けた結果密輸入品取締令違反及び密賣遂行罪として懲役二ケ月に罰金三百圓の判決を受け收監されたが六十件で後は警察署で保留する筈で當局でも山積す多い日は二十件以上にもなる事もあり大部分は海水浴のカンナガラ帽、麥藁、パナマ等中には買つたばかりの樣な上等品もあり、また辨當箱や驛辨メシ折詰は常磐銀行の今年度上半期の成績を聞くと內容の充實を計る爲め利益は專ら鎭却に振り當てる事になり一切物品は會社

足駄で蹴る

亂暴な六十男

平町立町安齋利助(六〇)は十四日午後十二時ごろ泥醉の揚げ句同町清水屋旅館根本村大字薄磯炭礦中作平(四八)に喧嘩を吹つかけ足駄で頭部を殴打全治三週間の重傷を負はせ平署で取調中である

平局海水浴場

平局では從業員一般の慰安のため十六日から二ケ月間四倉町に夏季休養所を設け誤樂擧れば同所で紹介しない者が萬一強取、詐欺、橫領等を犯し損害の場合は同所では雇主に直接百圓迄の範圍に於て損害の補償をなすので求人、求職者共に安心か出來る譯で結局求職者は勤續も出來信用も高まる事になるが加入方法は求職者の互選に移り左の如く決定するがこれは求職者が就職のしたが貿澤會長以下副會長も重任した事は會員の親任を裏書きしたもので氏名左の如し

(會長)貿澤忠治(副會長)木村清治、井上茂作(常任理事)端山正男、野崎滿藏、荻原義雄、岡田千藏、草野順平(監事)猪狩庄平、小田吉次、有賀幸太郎(以上)

魚屋の黒鼠

石城郡好間村大字下好間字大館居住猪狩一郎(三一)は十四日午前二時頃平町番匠町鮮魚行商長島龜四郎方に忍び入り現金二圓五十錢を窃取し徘徊してゐるを平署の森、山田刑事に逮捕されたが餘罪ある見込で嚴重取調中

平郵便局の
配達員優遇
夜間開函八時

平郵便局では例年の如く炎天に晒され汗だくになつて歩き廻る集配人優遇法の爲め來る廿日から九月十日まで市内及市外(好間、神谷)の第二號郵便配達(午後十二時半)を中止して日中一番の熱さを凌がせ午後三時半の小包配達は午前八時に早發する外市内の郵便取集め(午後七時)を同八時に遲らせるため八時まで投函し得る郵便は從來間に合はなかつた上下急行列車に結束する等になるから至極便利になつた

平署傳染病
去年の約半數

石城地方における稻作は前途極めて悲觀されてゐたが昨今俄に天候が持ち直して土用時の氣候と大差ないまで照つて來たゝめ發育は順調にすゝみこの分では何等憂ふるものでないと見られてゐるが右について郡農會大山技師は語る

梅雨明けにおける天候が良好なため懸念されてゐた成育も餘程順調に進んで來たこゝ分では必配の程でもないが然し今後の天候がどう變るかそれのみが心配である云々

稻見直る

石城地方の作物

磐新塔

平地方は連日九十度を超す炎天の日がつゞき寒暖計の水銀玉と物價は容赦なしに上る一方貧乏人の頭は下り通しの有樣で恰も釜中の苦みに藥掻ぐ多くの失職者は何か就職の手口は無いかと探り廻つてゐる折柄、七十七銀行の平支店が「小使さん至急入用」の廣告を出すと吾れこそと意氣込む小使志願の幼老がけさ銀行の硝子扉が明くのを待つてドヤ〳〵と入り込むだ、その數が驚ろく勿れ午前中に九人、人情咏豐かな山田支店長が一々丁寧に應接したが志願者の年齢が最長六十三歳から最少十六歳迄であるのに見て就職難の世相を如實に物語るものがある

離婚が大流行
併せて慰謝料請求訴訟で
平裁判所大多忙

平區裁判所にをける最近の民事々件として特に增加し目されるは離婚並に慰藉料請求の訴訟にて來たのは離婚者は離婚が多く晩婚者の方は慰藉料請求が伴ふ場合が多い、然もこの種の事件が增加したことは多く次性的關係と經濟的關係の二因に依つて居ることは最近

信用保險
平紹介所の

加入者二十八名

平町職業紹介所では昨年八月八日から同所で各商店、工場に就職せしめた者に對し橫濱火災海上保險會社と

盛會裡に
磐城共濟會
會長以下重任

平町磐城共濟會總會は既報の如く十四日午前十時參集その數が驚ろく勿れ午前中に九人、人情咏豐かな山田支店長が一々丁寧に應接したが志願者の年齢が最長六十三歳から最少十六歳迄であるのに見て就職難の世相を如實に物語るものがある

理事會

平町磐城共濟會總會は既報の如く十四日午前十時參集その數が驚ろく勿れ午前中に九人、人情咏豐かな山田支店長が一々丁寧に應接したが志願者の年齢が最長六十三歳から最少十六歳迄であるのに見て就職難の世相を如實に物語るものがある

生地の良い仕立の丁寧な
小供洋服
洗ヘハゲズ
二、三歳用　五十錢
四、五歳用　六十錢
六、七歳用　六十錢
八、九歳用　七十錢
十一、二歳用　八十錢
十二、三歳用　九十錢
スポーツ袴　一圓三十錢
十四、五歳用
家庭用婦人服　一圓五十錢
ロンバース　五十錢
日ニモヤケズ
ハシモトヤ糸店
平田町　藤田女學校隣

小使さん入用
身体強堅なる男子一名
(委細本人來談)
至急採用
株式會社　七十七銀行
平支店
平町三　電四一四

ラケット……特賣！
最新流行…細形…多數入荷
選手最的品……金參圓ヨリ
◆庭球用紳戸丸善製…運動服裝各種
◆本年流行の…セラーシャツ…六〇ヨリ
◆國際形競水着……六〇ヨリ
◎水禪　ゴム入二重製……一五
二重製……一二
夏の運動服裝特賣！
各學校會社御用達
大塚支店運動具部
平田町　電話七〇二番

御大典記念事業トシテ
一、衛生試驗所(共濟病院內)
一、病氣相談所(共濟病院內)
一、救療所(共濟病院內)
磐城共濟病院
◆看護婦見習募集　平町電話六四一番